【部課名： 市民生活部　環境課　　】

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
公害測定事業	工場や事業場からの排出される悪臭・騒音・振動などに対して、公害関係法令に基づき必要な指導・規制を行い、生活環境の保全と市民の健康を守ることを目的とする。 関係法令に基づく各種分析や事業場への立入り、指導等を行う。	指標：まちのきれいさや騒音の少なさなど、環境が整っていると思う市民の割合 総計の現状値：51.3% R7実績値：51.0%	事業所に対する水質の行政検査を通じて、水質汚濁の防止に努めた。また、河川の水質検査や自動車騒音の常時監視により、環境状況の経年変化を把握した。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	特筆すべき大きな課題はないが、事業所への指導や規制は、法令に基づいたものであり、今後も継続して実施する必要がある。 引き続き、事業所への指導などを継続していくことで、環境保全の維持に努めていく。

総合計画の位置づけ		事業費（うち市負担額）【千円】		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	R6決算額	1,976	0
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	R7決算見込額	3,225	0
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します	R8予算額	5,733	1,578

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
環境保全対策事務事業	鳥獣による被害の防止や空き地の適正管理を、関係法令に基づき推進し、生活環境の保全に努める。 鳥獣の捕獲許可及び空き地の適正管理の指導を行う。	指標：まちのきれいさや騒音の少なさなど、環境が整っていると思う市民の割合 総計の現状値：51.3% R7実績値：51.0%	鳥獣の捕獲許可や有害鳥獣の個体措置を行い、鳥獣による被害の防止と保護の両立を図った。また、環境保全条例に基づき空き地の適正管理を推進した。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	環境保全の観点から、鳥獣の保護と空き地の適正管理は、関係法令や条例に基づき継続して実施していく必要がある。 引き続き、関係法令や条例に準拠し継続して実施する。

総合計画の位置づけ		事業費（うち市負担額）【千円】		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	R6決算額	13	0
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	R7決算見込額	28	0
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します	R8予算額	1,447	0

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
不法広告物撤去事業	屋外広告物法および大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の規制や指導、除去等を行うことで、良好な景観や風致の維持、公衆に対する危害の防止を図る。 屋外広告物の設置・更新に関する許可事務及び不法屋外広告物に対する簡易除去や指導等を行う。	指標：まちのきれいさや騒音の少なさなど、環境が整っていると思う市民の割合 総計の現状値：51.3% R7実績値：51.0%	広告物の指導および撤去を継続的に実施した結果、撤去件数は減少傾向にあり、良好な景観形成および危害防止に一定の効果が見られる。そのため、本市や警察等で構成する「泉大津市内不法屋外広告物撤去対策協議会」による撤去作業の頻度を減らした。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	関係法令や条例に基づき、景観の形成、風致の維持、公衆衛生の向上のため、引き続き本事業を継続して実施していく。

総合計画の位置づけ		事業費（うち市負担額）【千円】		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	R6決算額	262	0
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	R7決算見込額	359	0
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します	R8予算額	287	0

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
脱炭素化促進事業	2050年温室効果ガス排出量実質ゼロの実現に向け、市から排出される温室効果ガス削減を図る。 市民、事業者、行政が一体となって脱炭素化を推進するため、再生可能エネルギーの導入支援、省エネルギー設備の普及促進、環境教育などを実施することで、温室効果ガス排出の削減を図る。	指標：地球温暖化対策に取り組んでいるまちだと思う市民の割合 総計の現状値：28.7% R7実績値：42.3%	公共施設における温室効果ガス排出量の効果的な削減を図るため、温室効果ガス排出量を可視化するシステムを導入し、職員の意識向上を図った。 また、市内事業者の行動変容を促すため、同システムの導入を推進したことにより、指標の上昇に一定寄与したと考える。	ゼロカーボンシティの実現には、公共施設における温室効果ガス排出量のさらなる削減が必要である。 引き続き、職員の脱炭素に関する意識向上を図るとともに、市内事業者の可視化システムの導入を促進していく。

総合計画の位置づけ		事業費（うち市負担額）【千円】		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	R6決算額	2,154	2,154
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	R7決算見込額	2,641	2,641
個別目標の方向性	脱炭素・省エネルギー社会を構築し地球温暖化対策を推進します	R8予算額	330	330

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
団体等育成支援事業（環境課）	衛生委員会及び公衆浴場業生活衛生同業組合の活動を支援することで、環境美化と公衆衛生の向上を図る。 衛生委員会および公衆浴場生活衛生同業組合に活動を支援するため助成金を交付する。	指標：まちのきれいさや騒音の少なさなど、環境が整っていると思う市民の割合 総計の現状値：51.3% R7実績値：51.0%	衛生委員会の活動支援を通じて、環境美化、公衆衛生の向上に寄与した。 指標について、衛生委員会が主体的に実施した啓発・美化活動は、市民の意識向上に少なからず影響を与え、指標の向上に寄与したと考えている。	継続的な環境美化と公衆衛生の向上が課題であり、そのために活動成果の可視化と衛生委員会の活動内容の充実が必要である。 今後は、活動成果の可視化を図るとともに、衛生委員会の活動支援を行い、事業効果の最大化に努めていく。

総合計画の位置づけ		事業費（うち市負担額）【千円】		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	R6決算額	1,021	1,021
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	R7決算見込額	928	928
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します	R8予算額	1,147	1,147

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
防疫事業	関係法令に基づき、感染症の発生予防とその蔓延を防止することで、公衆衛生の向上及び増進を図る。 大阪府保健所や所管課など関係機関と連携し、衛生害虫の駆除を継続的に実施する。	指標：まちのきれいさや騒音の少なさなど、環境が整っていると思う市民の割合 総計の現状値：51.3% R7実績値：51.0%	感染症予防と快適な生活環境の保全に向け、衛生害虫の駆除等の業務を持続可能なものとするため、引き続き防疫薬剤の散布業務などを外部委託するとともに、新たに害獣の運搬業務を外部委託した。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	特筆すべき大きな課題はないが、感染症予防法に基づき、感染症の蔓延防止を継続的に行っていくとともに、感染症の発生動向を常に監視し、適切な予防策を講じていく。

総合計画の位置づけ		事業費（うち市負担額）【千円】		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	R6決算額	3,683	3,683
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	R7決算見込額	1,214	1,214
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します	R8予算額	5,073	5,073

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
飼い犬登録事業	狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生予防、蔓延防止及び撲滅を図ることで、公衆衛生の向上及び増進を目的とする。 狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録と狂犬病予防注射の接種を促進する。	指標：まちのきれいさや騒音の少ななど、環境が整っていると思う市民の割合 総計の現状値：51.3% R7実績値：51.0%	飼い犬の登録を促し、狂犬病予防注射の接種を促進することで、狂犬病の発生予防に努めた。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	狂犬病予防法の特例制度に参加したことで、マイクロチップを装着している飼い犬については手続きが簡素化されている。 今後も引き続き狂犬病予防法に基づき、適正な飼い犬の管理と狂犬病予防注射の促進を図っていく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	1,002	0
R7決算見込額	1,071	43
R8予算額	1,221	185

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
路上喫煙防止対策事業	路上喫煙、受動喫煙および吸い殻のポイ捨てを防止し、市民の安心・安全で快適な生活環境を確保することを目指す。 路上喫煙を防止するため、広報や啓発活動を推進する。	指標：まちのきれいさや騒音の少ななど、環境が整っていると思う市民の割合 総計の現状値：51.3% R7実績値：51.0%	路上喫煙の減少を目指し、路上喫煙禁止区域である南海泉大津駅周辺で啓発キャンペーン活動を行うなど、制度の周知を図った。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	市民や駅利用者に対して路上喫煙禁止区域の周知を図り、喫煙マナーを向上させる必要がある。 啓発キャンペーンや広報活動を継続し、市民などへの周知徹底を図っていく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	11,000	11,000
R7決算見込額	2,290	2,290
R8予算額	562	562

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
中央公衆便所維持管理事業	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に規定される公衆便所を大津神社境内に設置し、公衆衛生の維持を図る。 中央公衆便所を維持するため、光熱水費の支払い、清掃業務を委託し、維持管理を行う。	指標：まちのきれいさや騒音の少ななど、環境が整っていると思う市民の割合 総計の現状値：51.30% R7実績値：51.0%	利用頻度の高い中央公衆便所の清掃業務を行ったことで公衆衛生の維持を図った。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	供用開始から約30年が経過しており、施設の適切な補修が必要である。 老朽化による機能低下を防ぐため、計画的に点検を実施し、適切な補修を行っていく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	1,030	1,030
R7決算見込額	1,502	1,502
R8予算額	1,406	1,406

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
一般家庭ごみ収集事業	市内の一般家庭から排出される可燃ごみの適切な処理体制の充実を図る。 市内の可燃ごみ収集運搬業務を委託し、原則として週2回の戸別収集を実施する。	指標：1日ひとり当たりのごみの排出量 総計の現状値：893 g R7実績値：825 g	ごみ収集業務を熟知した業者に委託することで、円滑な業務執行と生活環境の保全及び公衆衛生の維持に貢献した。 指標は、ごみの減量化や再資源化の推進により減少傾向にある。	一般廃棄物処理基本計画の目標値（2029年度に859g）を達成している状況である。引き続き、ごみ減量の取組を推進していく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち
個別目標の方向性	市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	339,944	339,944
R7決算見込額	352,929	352,929
R8予算額	367,917	367,917

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
粗大ごみ収集事業	粗大ごみの有料収集を維持するとともに、電話予約制を導入することで、収集運搬の効率化を図る。 粗大ごみの収集予約受付や収集・運搬業務などを外部に委託し、効率的な処理を行う。	指標：1日ひとり当たりのごみの排出量 総計の現状値：893 g R7実績値：825g	電話予約制により、粗大ごみが道路を長時間占拠することなく、効率的な収集運搬が実現できた。 指標は、ごみの減量化や再資源化の推進により減少傾向にある。	一般廃棄物処理基本計画の目標値（2029年度に859g）を達成している状況である。引き続き、ごみ減量の取組を推進していく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち
個別目標の方向性	市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	41,021	41,021
R7決算見込額	41,766	41,766
R8予算額	50,048	50,048

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
資源ごみ収集事業	資源の再利用化を推進するため、市民と事業者に分別収集を啓発し、焼却ごみの量を抑制する。 かん、ペットボトル、容器包装プラスチックといった収集運搬業務を外部委託する。	指標：1日ひとり当たりのごみの排出量 総計の現状値：893 g R7実績値：825g	かん、ペットボトル、容器包装プラスチックなどの資源ごみを定期的に回収することで、資源の有効利用とリサイクルの推進に貢献した。 指標は、ごみの減量化や再資源化の推進により減少傾向にある。	一般廃棄物処理基本計画の目標値（2029年度に859g）を達成している状況である。引き続き、ごみ減量の取組を推進していく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち
個別目標の方向性	市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	196,245	196,245
R7決算見込額	202,690	202,690
R8予算額	211,452	211,452

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
一般家庭ごみ減量化推進事業（地域環境基金活用事業）	家庭から出るごみの減量・分別とリサイクル意識の向上を図る。 指定袋の作製、販売に係る手数用及び管理搬送を外部に委託する。	指標	総計の現状値	R7実績値	指定袋制の導入により、家庭から排出される可燃ごみは減量し、指定袋制導入前の平成21年度と比較して、令和６年度の一人一日あたりの可燃ごみ排出量は約34%減少した。 指標については、指定袋制がごみ減量に大きく貢献していることを示している。	今後もごみ排出量削減の取組み及びリサイクルの推進を継続的に図る必要がある。 市民へのごみ減量と分別の啓発活動を継続し、リサイクル意識の一層の向上を目指す。
総合計画の位置づけ		1日ひとり当たりのごみの排出量	893ｇ	825g		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち					
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち					
個別目標の方向性	市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します					

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	35,596	35,596
R7決算見込額	35,277	35,277
R8予算額	44,506	44,506

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
地域環境美化事業	清掃活動団体の活動を支援し、環境美化を推進する。 清掃活動団体が回収した廃棄物を収集するとともに、「ごみゼロ大作戦」や「スポGOMI大会」などの啓発活動を実施する。	指標	総計の現状値	R7実績値	ボランティア清掃によって収集されたごみを回収することで、地域の環境美化に寄与した。 指数指標については、この活動で、地域の美化意識向上に寄与したと考えるが、直接的な数値で成果を示すことはできない。	啓発活動を通じて、清掃活動の可視化を図ることで、市民一人一人のごみに対する意識を向上させるとともに、清掃活動を行う団体のモチベーション向上を図る。
総合計画の位置づけ		1日ひとり当たりのごみの排出量	893ｇ	825g		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち					
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち					
個別目標の方向性	市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します					

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	1,864	1,864
R7決算見込額	2,144	2,144
R8予算額	3,504	3,504

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
不法投棄物及び死獣収集事業	不法投棄および飼い主不明の動物死体を収集し、環境保全と公衆衛生の維持を図る。 道路など公共の場所に不法投棄されたものを回収するとともに、放置された飼い主不明の動物死体を回収する。	指標	総計の現状値	R7実績値	不法投棄物や飼い主不明の動物死体を迅速に回収し、地域の環境保全と公衆衛生の維持に貢献した。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	特筆すべき大きな課題はないが、不法投棄や動物死体の回収は、環境保全と公衆衛生維持のために継続して行っていく必要がある。 引き続き、継続して回収を実施し、安全・安心な生活環境を提供していく。
総合計画の位置づけ		まちのきれいさや騒音の少なさなど、環境が整っていると思う市民の割合	51.30%	51.0%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち					
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち					
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します					

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	8,730	8,730
R7決算見込額	9,089	9,089
R8予算額	9,532	9,532

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
し尿処理事業	公共下水道の未整備地区のし尿処理を充実させ、災害時浸水に伴うし尿の適正処理と環境衛生の確保を図る。 また、一般家庭からし尿汲み取りを行う許可業者に対し、補助金を交付する。	指標	総計の現状値	R7実績値	し尿の適正な処理を継続的に実施することで、地域の環境衛生を確保した。 指標について、本事業がどの程度影響を及ぼしているかを判断することは困難である。	し尿くみ取り人口は減少しているが、公共下水道未接続・未整備地区や災害時のし尿処理への対応は引き続き必要である。 持続的な支援体制を確保及び、将来にわたるし尿の適正処理体制を維持するため、事業者との連携強化を図っていく。
総合計画の位置づけ		まちのきれいさや騒音の少なさなど、環境が整っていると思う市民の割合	51.30%	51.0%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち					
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち					
個別目標の方向性	きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します					

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	8,500	8,500
R7決算見込額	8,500	8,500
R8予算額	10,000	10,000

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
有価物集団回収助成事業	ごみの分別収集を徹底することで、資源の再利用を促進する。 集団回収を行う団体に対し、新聞・雑誌などの古紙回収量に応じて助成金を交付し、ごみ減量や資源再利用への意識向上を図る。	指標	総計の現状値	R7実績値	集団回収を実施する団体への助成金交付は、ごみの減量化と資源再利用に対する意識の向上に寄与した。一方で、リサイクル率は前年度実績も下回る結果となっている。	古紙類の発生量の減少や資源物の排出方法の多様化に対応する必要がある。 引き続き、目標を達成するために集団回収への助成金を継続し、団体の活動を支援していく。
総合計画の位置づけ		リサイクル率	17.40%	15.41%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち					
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち					
個別目標の方向性	市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します					

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	10,665	10,665
R7決算見込額	9,661	9,661
R8予算額	14,000	14,000

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
ごみ減量機器購入助成事業	家庭から排出される生ごみの減量化を促進し、市民のごみ問題やごみ減量に対する意識の向上を図る。 減量機器を購入する世帯に対し、費用の一部を助成し、ごみの減量と資源化を促進する。	指標	総計の現状値	R7実績値	ごみ減量機器購入への助成金制度を通じて、生ごみの減量化と資源化が促進され、市民のごみ減量意識も向上した。 生ごみ減量機器機の導入は、着実に進んでおり、可燃ごみ排出量の減少に少なからず寄与している。	可燃ごみ排出量のさらなる削減のためには、市民への周知と働きかけを行っていく必要がある。 そのため、引き続き助成金制度を継続し、市民のごみ減量意識の向上に努めていく。
総合計画の位置づけ		1日ひとり当たりのごみの排出量	893ｇ	825g		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち					
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち					
個別目標の方向性	市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します					

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	1,332	1,332
R7決算見込額	1,394	1,394
R8予算額	2,000	2,000

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
不法投棄防止啓発事業	不法投棄防止対策と環境美化の推進を図る。 地域環境基金を活用し、市内全域で不法投棄監視パトロールを実施する。また、啓発看板の設置により、ごみの減量・分別意識を高め、不法投棄を抑止する。	指標	総計の現状値	R7実績値	衛生委員会への不法投棄監視パトロール業務を委託したことにより、違反ごみや不法投棄ごみに迅速に対応することができた。 具体的な数値で示すことは困難であるが、パトロールの実施が不法投棄の抑止に一定の効果をもたらしたと考えている。	パトロールの実施だけでは、根本的な解決には至らないが、引き続き衛生委員会のパトロールを実施や、啓発の看板の設置等により、不法投棄の抑止につなげていく。
総合計画の位置づけ		まちのきれいさや騒音の少ななど、環境が整っていると思う市民の割合	51.30%	51.0%		
基本目標：みんなが住みよい環境が整っているまち						
個別目標：身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	事業費（うち市負担額）【千円】					
個別目標の方向性：きれいな水や空気、静かさなど市民の身近な住環境を守り安全・安心で快適なまちづくりを推進します	R6決算額 950 950 R7決算見込額 985 985 R8予算額 1,080 1,080					

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
緑のカーテン推進事業	つる性植物を活用した「緑のカーテン」を設置することで、室内の温度上昇を抑制し、エアコンの温室効果ガス排出量の削減を図る。 また、家庭での設置を希望する市民に対しても苗を提供し実施を促す。	指標	総計の現状値	R7実績値	公共施設８施設に緑のカーテンを設置するとともに、環境の日に合わせてゴーヤの苗を市民に配布することで、環境への意識向上を図った。 これらの啓発活動により、温室効果ガス排出削減に対する意識醸成に一定寄与した。	長年の実施により、市民への認知度は高まっているが、さらなる普及促進のためには、より効果的な啓発方法や実施方法の検討が必要である。 今後は、市民がより気軽に参加できるよう、情報発信の方法を多様化していく。
総合計画の位置づけ		地球温暖化対策に取り組んでいるまちだと思う市民の割合	28.7%	42.3%		
基本目標：みんなが住みよい環境が整っているまち						
個別目標：身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	事業費（うち市負担額）【千円】					
個別目標の方向性：脱炭素・省エネルギー社会を構築し地球温暖化対策を推進します	R6決算額 177 177 R7決算見込額 149 149 R8予算額 2,854 2,854					

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
食品ロス削減推進事業	家庭から発生する食品ロスを削減し、市民のごみ問題やごみ減量に対する意識を高める。 食品ロス削減をテーマとしたパネル展、啓発物品の作製、環境に優しい料理レシピの募集などを通して環境意識の醸成を図る。	指標	総計の現状値	R7実績値	食品ロス削減の啓発活動を通じて、家庭から排出される生ごみの減量化を促進し、市民のごみ問題やごみ減量に対する意識の向上に貢献した。 啓発活動による市民意識の変化を直接示す定量的な指標はないものの、生ごみ排出量の減少といった成果に間接的に寄与していると考えられる。	食品ロス削減への意識向上には、市民が「新しい気づき」を得られるかによる。 従来の啓発方法に加え、市民が食品ロスをより身近に感じられるような、企画や情報発信を検討する。
総合計画の位置づけ		1日ひとり当たりのごみの排出量	893ｇ	825g		
基本目標：みんなが住みよい環境が整っているまち						
個別目標：身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	事業費（うち市負担額）【千円】					
個別目標の方向性：市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します	R6決算額 123 123 R7決算見込額 953 953 R8予算額 1,262 1,262					

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
自転車活用促進事業	温室効果ガス排出量の削減と子育て支援を両立させることで、地球温暖化対策を図る。 市民に対し自転車の購入費の一部を助成し、自転車の利用を促すことで、温室効果ガスの削減につなげる。	指標	総計の現状値	R7実績値	令和6年度に補助要件を緩和するとともに令和７年度予算を拡充した結果、助成件数が増加した。 助成件数の増加は、市民への認知度向上にもつながり、指標に一定程度影響していると考えられる。	申請件数は増加している一方で、温室効果ガス削減効果は限定的である。そのため、事業の主目的である温室効果ガスの削減効果を明確化するとともに、子育て支援は副次的な効果であることを整理する必要がある。
総合計画の位置づけ		地球温暖化対策に取り組んでいるまちだと思う市民の割合	28.7%	42.3%		
基本目標：みんなが住みよい環境が整っているまち						
個別目標：身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	事業費（うち市負担額）【千円】					
個別目標の方向性：脱炭素・省エネルギー社会を構築し地球温暖化対策を推進します	R6決算額 7,235 7,235 R7決算見込額 9,525 9,525 R8予算額 9,500 9,500					

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
４R推進事業	循環型社会の実現に向け、4Rの取組みを推進し、ごみの排出抑制と資源化の促進を図る。 公共施設への給水スポット設置やエコバスツアーの開催、アプリの活用などを通じて、ごみ削減と分別意識の向上を図る。	指標	総計の現状値	R7実績値	給水スポットの運用やアプリの活用などを通じて、ごみ減量と資源化に対する市民の理解を深め、意識向上に貢献した。 この事業を通して、市民のごみ減量やリサイクルに対する意識が高まっていると考えている。	啓発活動が、ごみ減量や資源化に与える効果の定量的な把握は困難である。啓発活動を継続していくことで、市民の行動変容へとつなげ、資源循環型社会の形成をめざす。
総合計画の位置づけ		1日ひとり当たりのごみの排出量	893ｇ	825g		
基本目標：みんなが住みよい環境が整っているまち		リサイクル率	17.40%	15.41%		
個別目標：身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	事業費（うち市負担額）【千円】					
個別目標の方向性：市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します	R6決算額 3,513 3,513 R7決算見込額 2,842 2,842 R8予算額 3,679 3,679					

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
小型家電リサイクル推進事業	小型家電の再資源化を促進し、ごみの減量化と資源再利用を推進する。 小型家電リサイクル法の認定事業者で、宅配便による戸別回収を実施する事業者に対し、補助金を交付する。	指標	総計の現状値	R7実績値	小型家電リサイクル法の認定事業者による回収を通じて、レアメタルなどの再資源化が促進された。 小型家電の回収量増加と再資源化率には一定影響があると考えている。	宅配便を活用した小型家電の戸別回収は、市民の利便性向上に寄与している。 引き続き、市民への周知を図り、回収量増加による再資源化に努めていく。
総合計画の位置づけ		リサイクル率	17.40%	15.41%		
基本目標：みんなが住みよい環境が整っているまち						
個別目標：身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	事業費（うち市負担額）【千円】					
個別目標の方向性：市民一人ひとりがごみの排出者としての自覚を持ちごみを出さないまちづくりを推進します	R6決算額 509 509 R7決算見込額 560 560 R8予算額 980 980					

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
ゼロカーボンシティ推進事業		脱炭素社会の実現に向け、市民や事業者などへの啓発を推進するとともに、再生可能エネルギーや省エネルギー設備等の導入を促す。 再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備に対し、費用の一部を補助金として交付する。			指標	総計の現状値	R7実績値	太陽光発電システムに加え、他の補助金事業の交付件数も増加し、市民への周知・啓発が十分に図られた。 一部の項目で指標への影響を判断することが困難であるものの、太陽光発電システムの導入件数の上昇は指標に影響していると考えている。	補助制度について、市民への周知・啓発は十分に達成できた一方で、温室効果ガス排出量のさらなる削減に向けては、補助金制度の継続的な実施が必要である。 補助金制度の見直しや、補助金以外の脱炭素化施策についても調査研究を行い、より効果的な温室効果ガス削減を目指す。
総合計画の位置づけ					地球温暖化対策に取り組んでいるまちだと思う市民の割合	28.7%	42.3%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち				住宅用太陽光発電システム導入件数（累計）	1344	1556		
個別目標	身近な環境を守り持続可能な未来に繋がるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	16,056	16,056					
個別目標の方向性	脱炭素・省エネルギー社会を構築し地球温暖化対策を推進します	R7決算見込額	17,291	17,291					
		R8予算額	18,151	18,151					